

産業成長戦略の上半期の進捗状況等

分野：林業分野

戦略の柱：木材利用の拡大（２）

取組方針：マーケティング戦略の強化

【概要・目的】

これまであまり木材が使われてこなかった非住宅建築物の木造化・木質化に向けて、木造建築に精通した建築士の育成や施主の木材利用への理解の醸成等の取り組みを推進するとともに、CLT等の新しい木質建材を活用した建築を促進する。また、県外消費地での展示会や商談会の開催、流通拠点の活用促進と連携等により、県内外、海外への県産木材・木製品の販路拡大を図る。

令和２年度当初計画（P）

3. マーケティング戦略の強化

- (1) 非住宅建築物の木造化・木質化の推進（経済同友会等との連携）
 - ・全体セミナーの開催（東京：4、7、2月）
 - ・非住宅建築物等の見学会の開催（高知：5月、秋田：10月）
- (2) 県産材を活用した木造住宅建築の支援
 - ・県内外の県産材使用住宅への助成
 - ・住宅分野へのJAS製材品の促進
 - ・テレビ番組による情報発信（年間24回）
 - ・もくもくエコランドへの出展（10月31日、11月1日）
- (3) 流通拠点及び土佐材パートナー企業への販路の拡大
 - ・流通拠点での土佐材の販売（8,500 m³/年）
 - ・土佐材パートナー企業との意見交換会、非住宅部材等の提案
- (4) 海外への販売促進
 - ・木材輸出の促進に向けたセミナーの開催
 - ・海外展示会（台湾）への出展

計画を進めるに当たってのポイント

- ・流通拠点及び土佐材パートナー企業との連携

令和２年度上半期の取り組み状況（D）

3. マーケティング戦略の強化

- (1) 非住宅建築物の木造化・木質化の推進（経済同友会等との連携）※2（1）の再掲
 - ・木材利用推進全国会議 第3、4回幹事会（webミーティング）の開催（5/25、6/10）
 - ・木材利用推進全国会議 第2回運営協議会での活動計画の変更（6/30）
 - ・経済同友会 地方創生委員会・土佐経済同友会・高知県の意見交換会（web会議8/7）
 - ・経済同友会による施主に木造建築の良さを伝えるPR動画の撮影（8/25、27）

【新型コロナウイルス感染症による影響】

 - ・木材利用推進全国会議 全体セミナーの中止（4/24延期⇒6/16中止）
 - ・経済同友会 PR動画取材の延期・調整（8/3～5）
 - ・経済同友会 地方創生委員会による高知県視察（8/5～7）の中止
- (2) 県産材を活用した木造住宅建築の支援
 - ・住宅助成事業の説明会の開催（4月3、7、9日）（8名）
 - ・住宅助成事業の申込
 - ・県内：172戸（7月末）
 - ・県外：137戸（7月末）
 - ・ぷらっとホームMOKU（木と人出会い館）を活用した木造住宅等木の良さの情報発信、住宅相談の実施（来館者数7月末まで270名）
 - ・テレビ番組による情報発信の開始（4月～）
- (3) 流通拠点及び土佐材パートナー企業への販路の拡大
 - ・木製品工業連合協同組合 三役会での意見交換の実施（5/14）
 - ・土佐材パートナー企業との意見交換会（山口、鹿児島7/1～3、高松7/28）

【新型コロナウイルス感染症による影響】

 - ・土佐材パートナー企業との意見交換会（関西、関東）の延期・web開催の調整
- (4) 海外への販売促進
 - ・JETRO高知と連携したセミナー開催のためのミーティング（4/8、6/30）
 - ・台湾建築建材展（12/10～13）に向けた出展予定者ミーティング（7/8）
 - ・JETRO高知主催による木材輸出促進セミナーの開催（8/20）

【新型コロナウイルス感染症による影響】

 - ・土佐材流通促進協議会（輸出部会）の中止（4/9）
 - ・メゾン・エ・オブジェ（フランス パリ）の中止（9/4～8）

課題・改善策と今後の取り組み（C、A）

見えてきた課題

*新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた取組内容や手法の再検討が必要

3. マーケティング戦略の強化

- (1) 非住宅建築物の木造化・木質化の推進（経済同友会等との連携）
 - ・社会構造の変化に対応した木材利用（サテライトオフィスの木造・木質化等）の企画・提案の検討
 - ・木材利用推進全国会議における情報発信方法（リアル&web形式のセミナー、動画配信等）の検討・準備
- (3) 流通拠点及び土佐材パートナー企業への販路の拡大
 - ・新型コロナウイルス感染症への高知県の対応の目安を考慮した営業活動の実施
- (4) 海外への販売促進
 - ・輸出（予定）先における新型コロナの影響に関するイベントや渡航等の情報収集が必要

今後の主な取り組み（改善策を含む）

3. マーケティング戦略の強化

- (1) 非住宅建築物の木造化・木質化の推進（経済同友会等との連携）
 - ・経済同友会による施主に木造建築の良さを伝えるPR動画の作成・配信
 - ・リアル&web形式による全体セミナーの開催
 - ・少人数による非住宅建築物等の見学会等の開催及びPR動画の作成・配信
 - ・建築事例等からの提案・営業ツールの作成
- (2) 県産材を活用した木造住宅建築の支援
 - ・住宅助成事業の実施
 - ・住宅分野へのJAS製材品の利用増
 - ・ぷらっとホームMOKU（木と人出会い館）を活用した木造住宅等木の良さの情報発信
 - ・テレビ番組による情報発信
- (3) 流通拠点及び土佐材パートナー企業への販路の拡大
 - ・土佐材パートナー企業との意見交換会の開催、非住宅部材等の提案
 - ・県外イベントへの出展及び商談会の開催
 - ※訪問先・開催地の新型コロナウイルス感染症のリスクを踏まえて判断
- (4) 海外への販売促進
 - ・土佐材流通促進協議会（輸出部会）の開催
 - ・海外展示会（台湾）への出展
 - ※開催地の新型コロナウイルス感染症のリスクを踏まえて判断

【令和２年度末の目標】

- 1. 流通拠点、土佐材パートナー企業、施主となる企業への営業回数の増加 = R2：150回（R元比 +15回）
- 2. 戸建て住宅の木造率 = R2：全国平均以上（R元 92.9%（全国：90.3%））
- 3. 県外流通拠点における県産製材品の取扱量の増加 = R2：8.5千m³（R元比 +0.5千m³）
- 4. 県産材製品の輸出量 = R2：2.4千m³（R元比 +0.2千m³）

【直近の成果】

- 1. 流通拠点、土佐材パートナー企業、施主となる企業への営業回数の増加：220回（7月末）【対前年同期比 116%】
- 3. 県外流通拠点における県産製材品の取扱量の増加：3,654 m³（7月末）【対前年同期比 98%】
- 4. 県産材製品の輸出量：450 m³（6月末）【対前年同期比 83%】